



たらあ

平成 26 年
5 月号

平成26年 5月1日発行
No.482

発行/多良間村役場・編集/総務財政課広報係 〒906-0692 宮古郡多良間村字仲筋 99-2 ☎0980-79-2011



生まり島 親島大会で 郷友集う！

多良間村は、
39番目の

「日本で最も美しい村」

連合に加盟
しています。



the most beautiful
villages
in japan



▲右から中山義隆石垣市長・伊良皆光夫村長・羽地正弘記念建立実行委員長

を深めた。

その後、石垣市内のホテルにおいて記念式典があり、伊良皆村長が中山市長へ碑文と感謝状を贈呈した。祝賀会では多くの郷友の方々が出席し余興を楽しみながら交流

の心をいついつの世までも続けていきたい。」とあいさつした。

伊良皆村長は「この感謝の碑の建立除幕は、多良間村民や八重山在郷友会からの感謝を表したものです。

受け入れた恩を石に記し、石垣への感謝の心をいついつの世までも続けていきたい。」とあいさつした。

「感謝の碑」建立除幕式では、伊良皆光夫村長・中山義隆市長を始め村議会や各団体・石垣市在住の郷友会が出席しました。

「感謝の碑」を建立した。

そんな多良間島に対し食糧の支援や宮古島へ食糧調達に渡海の際、天候悪化で石垣島へ漂着した多良間島の人々を手厚く保護し助けた史実があり、石垣島の方々への恩を刻むため

「感謝の碑」を建立した。

記念事業の一環として、石垣市中央運動公園内に「感謝の碑」を建立した。これは、1771年、明和の大津波において多くの尊い人命が奪われ、大きな被害を受けたと言われる。

平成26年3月23日多良間村百周年記念事業の一環として、石垣市中央運動公園内に「感謝の碑」を建立した。これは、1771年、明和の大津波において多くの尊い人命が奪われ、大きな被害を受けたと言われる。

平成26年3月23日多良間村百周年記念事業の一環として、石垣市中央運動公園内に「感謝の碑」を建立した。これは、1771年、明和の大津波において多くの尊い人命が奪われ、大きな被害を受けたと言われる。



▲明和の大津波石(ウブドゥマリ 海岸)



「感謝の碑」建立除幕式及び祝賀会への寄付金のお礼
八重山在郷友会様 石垣市役所様
ありがとうございました。

明和の大津波で「感謝の碑」 石垣市に建立

石垣島に漂着した多良間島の人々

石垣島と多良間島は海を隔てること、およそ三二キロ。晴れた日には、互いの島影が見える距離にある。その近しい距離を背景に、古くからいろいろと往来のあったことが伝えられている。

そのなかにあつて、今から二四三年前、多良間島が、大飢饉となつたときの新たな史料が今回発掘された。その史料は、多くの多良間島の人々が必死の思いで救助を求めて渡海し、石垣島に漂着したことを、より詳細に記している。その史料と内容を紹介する。

☆多良間島の大飢饉

それを記した史料は、「大波寄揚候次第」(おおなみよせ)「へり」あがりそうろうしだい)で、豊川家(豊川敏彦氏)に所蔵されてきたものである。

二四三年前といえ、いわゆる「明和の大津波」のあつた年(二七七二年)である。

史料によれば、その年、多良間島は大津波の甚大な被害に加え、その後の二度に渡る台風などによりサツマイモの蔓も枯れ、大飢饉の年を迎えていたとされている。

多良間島の人々は、宮古島に救助を求め、飢饉の際の蓄えとしていた米を調達し、それに(デイゴの葉か)などを混ぜて食べ、飢えをしのいでいたが、その調達も天候まかせの海上輸送のため思うようにいかず、配給されていた食料が底を尽き、毎日餓死者が四、五人も

出て、合計一五〇人余の人々が亡くなるという逼迫した状況となっていた。

☆漂着した多良間島の人々と役人の対応

そこで、多良間島の役人は、飢えに苦しむ島人を救うため、公用の山原船二艘に二二一人の人々を乗せて、一七七一一年十月十七日、宮古島に向け送り出したが、あいにく天候が悪くなり、その船は翌十八日、石垣島に漂着している。漂着した場所は、桃里村の「通(トゥーリー)津口」である。

その報告を受けた八重山の役人は、漂着した人々に粥(かゆ)を用意し、または飢えて病んでいる人は医者が治療するなど、すみやかに救助の手配をしている。ただ、そのころの八重山も、やはり大津波の被害の影響で、上納米や食料もおぼつかない状況であつた。

そのため多人数の食料調達を長く続け、いたずらに蓄えた米を食べ尽くしてしまつては、宮古、八重山の両方にとつても良くないと役人の判断から、体力が回復した人々を各村々に配置して共に働かせ、食料確保に努めさせている。

また老人や回復の遅い病人、子どもには一日一合五勺、副食三勺ずつをも分けている。さらに多良間島に残っている人々も飢えており、それらの人々への食糧分も調達している。

☆多良間島への帰島

体力を回復したそれら多良間島の人々が、ようやく帰島の日を迎えたのは、翌一七七二年一月十七日のことである。しかし、食糧分の積荷が増えたこともあつて、二艘の船には、一六九人しか乗れず五〇人の人たちが残されることになった。一六九人を乗せた山原船二艘は一路多良間島へ向け帆を上げた。ところが、そのときも天候に災いされて翌十八日に再び石垣島に戻っている。

その後、宮古島から飢饉用の米が多良間島に届いたとの報告がもたらされたことから、借りた米の一部を船から降ろして、その空いたスペースに残っている五〇人を乗せ、二艘に分譲した人々が多良間島向け出帆したのは、じつに二月九日のことであつた。そのときに六人の人が乗り遅れた。故意か不可抗力かは、今になっては分からない。その人たちが多良間島に帰つたのは三カ月後の五月一日のことである。一一〇日余り(乗り遅れた人は一九〇日余)の石垣島滞在ということになる。

二四三年前のこの時期、二二一人もの多良間島の人々が、島に残っている飢えた人々のことを気にかけながらも四カ月近くもの長い滞在を余儀なくされていた。それらの人々に関する伝承はないのであろうか。はたして、どのような滞在生活を送っていたのであろうか。桃里村は廃村になつて今は

もうない。多良間島にこの飢饉を乗り越えた人々の話は伝わっていないだろうか。今なお歴史の闇に包まれている人々への興味は深まっていく。

☆おわりに!

今回新たに発掘された史料には、ほかに多良間島の百姓「仲田屋たま」や「よそかん屋かまた」という二人が、他の島に逃げないよう厳しい取り締まりがなされるなか、それでも救助を求めて必死の思いでクリ舟を漕ぎ、安良村に上陸した。そこで安良村の役人は急いで粥を炊き、介抱したということなども記されている。逼迫した状況下での多良間島の人々の生への渴望の姿が垣間見えるとともに安良村の心温まる役人の姿も浮かび上がってくる。

公用の山原船で漂着した二二一人の人々と合わせて、その後「仲田屋」「よそかん屋」の方々がどうなったのか、安良村も廃村となつてしまっている今、多良間島での伝承が残っていればと思う。

石垣島には、タラマダー(多良間田)・タラマオン(多良間御嶽)・タラマンニ(多良間嶺)など多良間と関連する地名もある。

今後それらも含めて広く石垣島と多良間島との交流の歴史を一つ一つひもといていけば、まじかに見える島がもつと身近に感じられてくるものと思う。

八重山在「松村順一氏」の
八重山毎日新聞掲載より

故郷の課題に意見 郷友代表らと初のサミット!



去る4月26日多良間村役場(伊良皆光夫村長)において、初の「多良間島サミット」が開催された。サミットには伊良皆村長をはじめ、在宮古郷友会長の名城常一・前会長の渡久山春吉・在沖郷友会長の本村博司・NPO法人ふしやぬふネット代表の長浜隆夫・各課長らが出席し、意見などが出された。

伊良皆村長は「多良間村が今抱えている課題や将来に向けての意見等、島では気づかない点が多々あると思う。島外から見た意見や提言等をお願いしたい。今後、多良間村は大きなプロジェクトを控えており、どの方向に進むか模索しながら頑張っているところである」とあいさつした。

その後、役場から国営土地改良事業の進捗状況・農村整備計画・沖縄振興一括交付金に関する事業・多良間⇄石垣航空路線の再開などについて説明が行われた。出席者からは、人材育成への支援、15歳で島を出る子どもらとの関係支援や島の環境保全などの意見等、また若者が島を離れていくと高齢化していく、島の文化の担い手の育成や島外との交流を数多く持つことにより島の発展に繋がるなどの意見が出された。

第20回

多良間村・各郷友会交流 グラウンドゴルフ大会

故郷多良間「生まれ島」「親島」へ郷友一堂に集う





▲4郷代表による始球式



去る4月26日、村制施行百周年を記念した第20回多良間村・各郷友会交流グラウンドゴルフ大会が高穴Gゴルフ場で開催された。この大会はグラウンドゴルフ・交流会とおして、「親島と各郷友会」間の交流・親睦を図るとともに、お互いの絆を確認し合い、「ふるさと」の素晴らしさを再発見することを目的としている。

開会式で伊良皆光夫村長は「ふるさと生まれ島で各郷友の皆さんが集い、グラウンドゴルフを楽しみながら絆を深め交流をしてほしい。島ではいろいろな事業が進んでいる。環境に優しいエコファーマーや製糖工場の新築計画もある。村民のご理解と協力で成功させ「ゆかり村」を目指していきたい。今日は楽しみながら頑張っていきましょう。」とあいさつした。

プレイは、伊良皆村長、在宮古多良間郷友会の名城常一会長、在沖多良間郷友会の本村博司会長、八重山在多良間郷友会の羽地春秀さんが始球式を行い競技が始まった。

昼食は「やぎ汁」がふるまわれ、終了後は多良間小学校体育館でふれあい交流会と団体や個人男女上位入賞者の表彰式が行われた。結果団体優勝は多良間村が優勝旗を獲得した。来年第21回大会は宮古島で開催される。



個人結果は次のとおり

男子10位まで

- 1位：糸数 隆(在 沖)
- 2位：砂川 武彦(たらま)
- 3位：渡口 繁男(たらま)
- 4位：山川 和雄(たらま)
- 5位：奥平 博昭(たらま)
- 6位：花城 保夫(たらま)
- 7位：下地 真人(たらま)
- 8位：多良間恵信(たらま)
- 9位：桃原 宏(在 沖)
- 10位：嘉味田新一(たらま)

* ちゃあがんじゅう賞

高江洲良要(たらま85歳) 来間トミ(在沖88歳)

女子10位まで

- 1位：渡口 トミ(たらま)
- 2位：多良間シズ子
- 3位：狩俣百合子(たらま)
- 4位：下地 まり(たらま)
- 5位：伊良皆和枝(たらま)
- 6位：大城 洋子(たらま)
- 7位：垣花 正子(たらま)
- 8位：運天 朝子(たらま)
- 9位：豊里 チエ(たらま)
- 10位：村吉 末子(在宮古)

★春の行政相談所開設★ ——6月13日(金)——

◎相談内容

医療保険、年金、老人保健・福祉、雇用保険、交通安全、戸籍、道路、環境衛生、登記、窓口の対応、障害者への配慮などなんでもどうぞ

◎行政相談委員が相談に応じています。 相談は無料、秘密は守ります。

行政相談委員は羽地邦雄さんです。(総務大臣委嘱)

連絡先TEL.79-2023

巡回行政相談所

日 時：平成26年6月13日(金) 14:00～16:00

場 所：多良間村役場 1 階会議室

◎国民と行政を結ぶホットライン

総務省沖縄行政評価事務所の行政苦情 110 番

TEL 0570-090110 098-(867)1100

(受付時間は、平日の8:30～17:15 まで。時間外は留守番電話対応)

人権相談所開設 「6月13日」

人権・法務なんでも相談 相談内容

近隣とのトラブル・家庭内のもめごと・いじめ・体罰に関する問題・離婚・扶養・等の人権相談に応じます。

(相談は無料で、秘密は固く守られます。)

日 時：平成26年6月13日(金)

場 所：村立図書館 2階

時 間：午後1時30分～

3時30分

担 当：多良間村人権擁護委員

*垣花奈緒子

*手登根健市

～無料法律相談会～

憲法習慣記念行事の一環として無料法律相談会を下記の通り行いますので、お気軽にご利用ください。

◎日 時：5月29日(木)

受付時間：午前9時50分～午後3時まで

*相談件数によっては、早めに受付を終了する場合があります。

◎会 場：那覇市ぶんかテンプス館3階会議室
(那覇市牧志3-2-10)

◎相談担当者：弁護士、裁判所職員、法務局職員、
検察庁職員

◎相談の種類

法律相談(民事、家事)、事件相談(告訴、告発等)、人権相談、登記関係相談、訴訟手続等(民事、家事)、調停相談(民事、家事)

◆問い合わせ先

〒900-8567 那覇市桶川1-14-1

那覇地方裁判所事務局総務課広報係

電話：098-918-3317(直通)

放送大学 10月生募集のお知らせ

放送大学では、平成26年度第2学期(10月入学)の学生を募集しています。

放送大学はテレビ等の放送やインターネットを利用して授業を行う通信制の大学です。

心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。

出願期間は8月31日です。

資料を無料で差し上げています。

お気軽に放送大学沖縄学習センター(TEL098-895-5952)までご請求ください。

放送大学ホームページでも受け付けております。

広報たらま
寄付金のお礼

桃原 宏(日光舎ランドリー) 様(那覇市在)

ありがとうございました。

風しん抗体検査事業の実施について ～宮古保健所～

1.概要

風しんは、平成25年に、全国で累計14,357例の報告があり、風しんが全数報告疾患となった平成20年以降(平成20年～平成25年)では最も多い報告数となりました。

また、沖縄県内では52例、宮古保健所管内では2例の報告がありました。

抗体を持たない又は抗体価の低い妊婦が風しんにかかると、赤ちゃんに難聴や心疾患、白内障や緑内障などの障害(先天性風しん症候群)が起こる可能性があります。

沖縄県では、先天性風しん症候群(CRS)の予防のために、風しん抗体検査を無料で受けられる体制を整備しました。つきましては、宮古保健所における風しん抗体検査を下記のとおり実施しますので、周知方よろしくお願い致します。

2.実施内容

先天性風疹症候群(CRS)の予防のため、無料で風しん抗体検査を実施する。

3.実施期間

平成26年5月13日から平成27年3月31日

4.検査実施曜日及び時間

毎週火曜日・木曜日(祝祭日は除く) 午前9時～11時、午後1時～3時 ※予約不要

5.検査実施場所 宮古福祉保健所 1階検査室

6.検査対象者

県内に居住(那覇市を除く)する次のいずれかに該当する方。

- (1) 主として妊娠を希望する女性(妊婦は除く)及びその配偶者(婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む)(別添1)。
- (2) 風しんの「抗体価が低い」妊婦の配偶者(別添1)。
- (3) 上記以外の同居者(生活空間を同一にする頻度が高い者)
- (4) ただし、過去に風しん抗体検査を受けたことがある者、明らかに風しんの予防接種歴(3期、4期)がある者、若しくは検査で確定診断を受けた風しんの既往歴がある者は除く。

7.検査方法

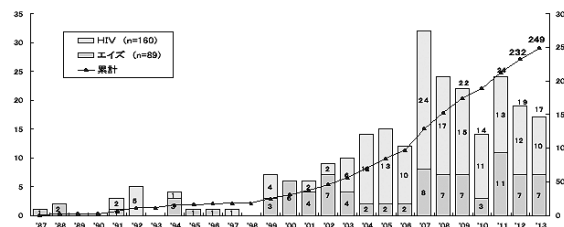
問診及び採血により検査します。

- (1) 必要書類
住所等を証明する書類(運転免許証、健康保険被保険者証、住民票など) 妊婦の風しん抗体検査結果
- (2) 検査結果
2週間以内に、再来所または郵送により通知します。

6月1日～7日は『HIV検査(エイズウイルス検査)普及週間』です! 「受けて安心、知って安心、エイズ検査」

●沖縄県のHIV感染者数・AIDS患者数(2013年11月末の数値)

- ・過去の累計は249件(ここ5年間で96件)
- ・沖縄県は平成18年度から重点対策指定自治体です。(全国で20自治体)
- ・2012年の人口10万人対新規報告数でみると、HIV感染者は全国5位、AIDS患者数は全国6位
- ・20代～50代の男性に多い。



- エイズは早期発見、早期治療により発症をかなり遅らせることが可能です。発症を遅らせることにより通常の生活ができます。

<宮古保健所>



無料・匿名・即日検査

週間中の検査日: 6月2日(月)～6日(金)

午前9時～11時 午後1時～3時

場 所: 宮古保健所 1階 検査室

電 話: 73-5074 予約不要

検査は県内どこの保健所でも受けられます!

キナイ(家族)の絆深める 第27回3世代ゲートボール大会

優勝=天川Aチーム
準優勝=土原Aチーム
3位=大道Aチーム・吉川Fチーム



去る4月29日多良間村営ゲートボール場において、3世代ゲートボール大会が開催された。ゲートボールを通して親・子・孫が一緒に、青空の中スティックを振りキナイの絆を強めた。

「ゲートボールを通して、3世代が一つになり、楽しく心の和を広げ絆を深めるとともに、健康で明るい地域づくりを目指す」ことを目的で毎年開催される。

開会式で友利哲市教育長は「3世代ゲートボール大会は多良間村にしかない、ゲートボールを通してオジー・オバー孫達との更なる深い絆を深めてほしい」とあいさつした。

大会は、5人1チームの33チームが参加し熱戦を見せた。各チーム優勝を目指し互いに激励しながら各ゲートを通してながらプレーを楽しんだ。

結果は次の通り

多重債務者無料相談制度のお知らせ

●多重債務者無料相談制度の内容

沖縄弁護士会では、多重債務問題(借金問題)に関する無料相談を実施しております。

同制度による無料相談をご希望の方は、下記電話番号(沖縄弁護士会)までお電話の上、「多重債務(借金)に関する無料相談を受けたい」旨お知らせ下さい。

受付後、担当弁護士から相談者様へ電話にてご連絡しますので、相談日時を調整後、相談の実施となります。

記

沖縄弁護士会法律相談受付 098-865-3737

(「借金に関する相談」とお知らせ下さい。)

保健師からののお知らせ



▲高齢者向け体操教室の様子(老人福祉センター)



▲一般向け栄養教室の様子(塩川集落センター)

梅雨に入りはじめとした季節になりました。皆様はいかがお過ごしでしょうか。不定期でお届けしている保健師からのお知らせですが、今回は健康教室のご案内をします。

健康教室は、一般向け(栄養教室及び体操教室)、高齢者向け(栄養教室及び体操教室)、村協主催のふれあいサーブスと実施しています。一般の教室は村内放送やメールマガジンにて、高齢者の教室は各地区の老人クラブ女性委員の皆様へ通知をお願いしてご案内しています。

また、講師にはそれぞれ専門の方をお招きして、時期に合わせた内容を実施しています。今はテレビを付けたリ、インターネットを見たりすると様々な情報が手に入る時代ですが、鵜呑みにして良い情報ばかりではありません。気になることは直接講師に質問出来る貴重な機会ですので、もっとも有効に活用して頂きたいと思います。

末永 明彦

平成26年度沖縄県警察官A(大卒) 採用試験案内

第1次試験日:平成26年7月12日(土)・13日(日) 受付期間:平成26年5月7日(水)～5月20日(火)

*問い合わせ先:

沖縄県人事委員会事務局総務課 〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2(県庁行政棟2階) 電話(098)866-2545

沖縄県警察本部警務課 〒900-0021 那覇市泉崎1-2-2 代表電話(098)862-0110(内線)2667

*試験区分、採用予定数 ・警察官A ・沖縄県 39名程度

*職務内容 ・個人の生命、身体及び財産の保護、犯罪の予防・鎮圧及び捜査、被疑者の逮捕、交通の取締り、その他公共の安全と秩序維持の任務に従事します。

*受験資格 ・昭和60年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた者

*学 歴 ・大学を卒業した者及び平成27年3月までに大学を卒業する見込みの者

4
月

世帯数と人口

(平成26年4月末現在)

総世帯数 527 (9)

総人口 1,257 (23)

男 673 女 584

区 別	人 口	世帯数
土 原	72 (11)	31 (3)
天 川	107 (1)	45 (0)
津 川	117 (-1)	55 (3)
宮 良	86 (-2)	33 (0)
嶺 間	148 (1)	65 (2)
大 道	199 (0)	90 (-1)
大 木	305 (-1)	117 (-2)
吉 川	218 (14)	87 (4)
水 納	5 (0)	4 (0)
出 生	0	死 亡 2
転 入	35	転 出 10

おくやみ

()内は前月比

字塩川 友利 サダ 平成26年4月19日(89歳)

字塩川 知念 トヨ 平成26年4月22日(92歳)

緊急ダイヤル

火 災 村 消 防 (79-2619) 119番

警 察 官 派 出 所 (79-2010) 110番

急病人 (1)多良間診療所 79-2101

(2)時間外 090-6862-6490

(3)役場住民福祉課 79-2623

救急車要請 総務財政課(消防) 79-2619

歯科診療所医師 79-2162

停 電 沖縄電力多良間営業所 79-2147

断 水 役場住民福祉課 79-2623

家畜疾病 役場村づくり課 79-2503

ガス専用JA多良間 090-6859-2355

多良間駐在所よりのお知らせ

運転免許証の更新について!

*多良間で更新できます。

*検査は駐在所で行います。(視力検査等)

*講習は年に2回行います。(6月・1月 予定)

連絡先:多良間駐在所(比嘉利昌)

電話:79-2010

救急に関すること(4月)

◆時間外救急受付 23件

◆救急車出動 0件

◆ヘリ搬送 0件

救急車要請 : 79-2619

急病人時間外: 090-6862-6490

4月牛セリ結果(26年4月19日実施)

◇全体

区 分	去 勢	牝	合 計
上場頭数	108	111	219
成立頭数	108	111	219
成立(%)	100	100	100
販売価格(円)	100,152,720	32,460,750	84,743,400

◇12ヶ月以内

区 分		去 勢	牝
あ た り 頭	最高	595,080円	523,800円
	最低	315,360円	177,120円
平均体重		236kg	233kg
平均価格		481,650円	433,644円



広報たらまのCD-ROMを販売しています

多良間村役場では、「広報たらま」のバックナンバー

(平成8年11月～平成16年12月まで)を収録したCD-ROMを販売しています。

動作環境: Windows2000/XP/VistaなどWindows PC

■定価2,500円
(送料別)

詳しくは、多良間村役場 **0980-79-2011** まで。

あなたの1本で 島を花と緑に

去る4月27日に多良間村・ふるさとを楽園にしたい会、森林ボランティアの「木頭会」が多良間農村公園内(約1町歩)に記念の森作りに取り組みることになり、「希望の森」の看板を建て植樹をした。ふるさとを楽園にした会(代表世話人 豊里勝一)はこれまで島内に15,000本を超える植樹をしており、各戸や学校、道路沿いに植えている。今後、毎年の生年祝いの合同植樹、小中学生入学時・進学時の親子植樹、観光記念植樹など呼びかけている。



村長のたうけーむぬゆむ(ひとりごと)

二十四節季の一つ「小満」今年は5月21日であった。

ショウマンと言えは私達は大雨・長雨を連想する。ところが、「小満」の本来的意味は、麦の穂が次第に大きくなり、少しだけ満足するという意味らしい。なぜ、少しだけ満足するかと言えは、まだ収穫には至っていないので、大満足というわけにはいかないからだ。多良間では、小満の時期までには麦は収穫を終える頃であり、多良間の季節からすると「大満」といっていいかも知れない。そういえば、麦の初穂を神様に供えるという麦ぶりりは4月13日であった。

食べ物豊富な今の時代と違い、昔は穀物の出来、不出来は命に直接かわる事であった。そのため、農作物を収穫するまでは、万全の準備を整え、種まきから途中経過まで、事細かく観察し、適切に対応する必要があった。小満の時期は農作物も青々としげり、生長もいちじるしい。

多良間では、一年の豊作に感謝し迎える年もまた豊年であることを願うスツウプナカの時期でもある。「やつかやつか」のはやしは、穀物の穂が八つに重なるまで、実ることを意味していると言われている。今年も来年も年々歳々豊作続きで「大満」であることを願う。

「小利を見れば、即ち大事にならず」

という言葉がある。「小利」とはわずかな利益のこと。小利にこだわったり、焦ったりすると、大きな事はできない、という意味である。急いでいる時には近道や危険な道は避け、少々遠くても安全で着実な方法をとるという「急がば回れ」という言葉と、僅かな利益を得ようとして、かえって大損してしまう意味の「小利大損」をプラスしたような意味ととらえる。

自分はこうしたい、こうなりたいたいと思ったら、行き当たりばったりではなく、まず長期の目標を立てる。そして自分が立てた目標に著実に、1つずつこなしていくことが大切である。長い人生、近道をストリートにいくのも良いし、少々回り道があっても良いと思うが、いずれにせよ常日頃から自分を磨き、何事がおきても対応できるような体制を整えておくことが、「大満足」とはいかなくても「小満」にはなり得るものと思う。



「電波のルール」を守りましょう!

電波利用環境保護周知啓発強化期間 6月1日～6月10日

私たちの生活の
安心・安全を脅かす

不法電波を シャットアウト!!

電波のルールって?

- ① 無線機の利用には技適マークの確認を!
- ② 電波の利用には、原則、免許が必要!
- ③ 外国規格の無線機器は、国内では使用不可!



総務省沖縄総合通信事務所 監視調査課 TEL 098(865)2308



たらま島のむかし話②

王様に生まれ変わったオジイ

ある村に、貧乏で一人暮らしのお爺がいたそう。そして、そのお爺は、薪取りをして来て、それを売って生活をしていたそうである。けど、お爺はそんなに薪取りをして、それで生活をしていても自分の島の人たちに、とても恵んでいたそう。もう自分は、どんなに苦しい生活をしてでも、村の弱い人たちをなんとかしようと、自分のようにこんな惨めな生活をさせてはならないと、そういう気持ちを持っていて、山へ行つては薪取りをして、これを売って恵まれない家の子どもたちになんとか恵んでやり、また恵まれない家の人たちにも恵んだりしているお爺がいたそうである。

けどある時、山へ薪取りに出かけ、薪を取って帰る途中で、雨も降り風も吹いているので、家へ帰れなくなり、その薪を山の片隅に置いて、その下で休んでいると、なかなか雨もやまず風も止まないの、その晩中雨にたたかれ風に吹かれて、とうとう亡くなってしまうたそう。亡くなっているのを山へ来た人が見つけて、「ああ、あんなに貧乏暮らしをしながらも、村の

人を助けたお爺が亡くなられている」と、見つけた人は役場へ行き「貧乏お爺が、よく弱い者に恵んでおられたお爺が、亡くなられているよ」と連絡したらしい。「ああ、あんなお爺も、あんな亡くなり方をするとは」と、役場の人たち村の人たちはそこへ行つて、墓標を立て香炉をおいて線香をあげていたそうである。

そして、そのお爺は他人と変わって顔にホクロがあったようです。もう、ほんとに特徴のあるホクロだったらしい。そして、そこから通る人たちは、お爺が亡くなった所に毎日線香をあげ、手を合わせていたようである。

そこを通る人たちは「お爺さん、この世におられた時は弱い者達を助け、恵んでおられたので、あの世へ行かれたら立派な仏様になり、極楽往生して下さいね。お爺さん」と手を合わせて皆通ったそうです。それで、そのお爺は生きていた時は、あんなに貧乏しながら他人に恵んでいたの、あの世に行かれてから、その島の王様の子として生まれかわって来たそうです。そのお王様の所で生まれた男の子が、そのお

爺に全くそっくりで似ていたそうです。ホクロも全く同じ所にね。

それから島の人たちは「ああ、あんなに生きておられた頃、貧乏暮らししながらも村の人たちを助け、恵んでおられたので、あの世へ行かれてから王様の子に生まれ変わって、王様の位にお就きになさっている。」と。

それから村の人たちは皆感心して、このお爺さんのような心を持ちながら生きていけば、自分たちも報われる時があるのだと、それからは世の中の人々も、立派な精神、きれいな心を持つて互いに恵み合い、立派な村を作り上げていったという話である。

(多良間村の民話より)





編集後記

☆去った4月20日は穀雨であった。少々、干ばつ気味であったが：しかし、24日に大雨が降り、多少、畑作物への潤いがあった。昔は穀雨の雨が降るとお役人たちは、お祝いをしたそうである。

☆明和の大津波で多良間島は大きな被害を受けたと言われる。当時石垣島の方々から食糧の支援を受けるなど助けられた恩がある。これらに感謝を表すことで「感謝の碑」を建立した。除幕式と祝賀会へ参加できて、感謝の文字に改めて感謝である。

☆各郷友交流グラウンドゴルフ大会が「親島」多良間で開催された。久しぶりに里帰りした皆さんは和気あいあいとプレイし楽しい一時を過ごしたであろう。また、来年の宮古島大会での再会が楽しみ。

てるけん